



「月の平均気温がこれまでの記録を上回りました。」「真夏日の日数がこれまでの記録を更新しました。」そのようなニュースをあちらこちらで耳にした6月でした。7月に入ってからこの高温傾向は続き、暑さ指数をこまめにチェックしながら教育活動を進める毎日です。

さて、夏休みが近づき、子どもたちの心もどことなくそわそわしているように感じられます。しかし、この時期に最も大切なことは、**今学期の自分自身を振り返ること**です。1学期が終わるこの節目に、4月に立てた自分の「めあて」に向けてどんな努力をしたのか、どんなことができるようになったのか、また、努力が少し足りなかったことはどんなことかなど、自分自身を見つめることが、2学期以降の成長につながります。

1学期が終わりを迎えるにあたり、保護者の皆さまには、本校の教育活動にご理解、そして、様々な面でご協力いただき、ありがとうございました。また、地域の皆さまには、子どもたちの登下校の見守り、教育活動へのご協力、学習環境の整備等の面から学校を支えていただいたことに感謝申し上げます。



平和への願いを込めて ～折り鶴を通したすてきな交流～

6月の出来事です。朝の時間を使って、6年生が1年生に鶴の折り方を教えてくれました。

この鶴は、二宮駅の南口にある「ガラスのうさぎ像」を千羽鶴で飾るためのもので、先月、全校の子どもたちが心を込めて折りました。

1年生にとって鶴を折ることはとても難しい作業ですが、6年生が机を回りながら一人ひとりに分かりやすくていねいにアドバイスをしてくれたおかげで無事に完成させることができました。

優しい言葉をかけて折り方をていねいに教えてくれた6年生。また、鶴を折ることができてうれしそうな表情を浮かべる1年生。とてもすてきな交流ができました。

そして今月、みんなが心を込めて折った鶴（約700羽）を、児童委員会の子もたちが全校を代表して二宮町の職員の方に手渡しました。

職員の方から、「みなさんが折ってくださった鶴に二宮高校の生徒さんが糸を通して千羽鶴を完成させてくださいます。それを8月に「ガラスのうさぎ像」に飾ります。ぜひ見てくださいね。」というお話がありました。

子どもたち一人ひとりの平和への願いが伝わることを祈ります。



スイミングスクールでの水泳教室

今年の水泳教室は、屋内にある民間のスイミングスクールで実施しました。昨今の夏の猛暑や雨天などにより水泳教室が中止になることがたびたびありましたが、天候に左右されることなく、安全に行うことができました。

当日は、マイクロバスに分乗してプールまで向かいました。実際の水泳教室では、泳力別に分かれたグループにコーチが1人ずつ付き、水に慣れること、浮くこと、泳ぐことの楽しさを伝えてくださいました。子どもたちは、時おり笑顔を見せながらも、一生懸命な表情、真剣な表情で様々なプログラムに取り組んでいたことから、水泳教室が充実したものになっていたことが伝わってきました。



にのフロ(にの小なかよしプロジェクト)

6月5日(木)、今年最初の「にのフロ」が開かれました。「にのフロ」とは、1年生から6年生の班(1班13名～15名)で異学年交流する活動のことを言います。この「にのフロ」の主なねらいは、活動を通して、互いに協力して学校生活を楽しく豊かにしていこうとする態度を身につけること、また、学

級や学年をこえた連帯感を養うことす。

「にのプロ」は年間6回の活動が予定されており、第1回の活動では、班のめあてをみんなで考えました。「チームワークよく活動できる班にしよう」「みんなで協力できる班にしよう」「みんなで楽しい、最高の思い出を作ろう」など各班それぞれです。その後、風船バレー、ゴロゴロドッカン、ハンカチ落としなどのゲームをして、班のみんなで交流を深めました。



この日は顔合わせの会でした。リーダーになった6年生にとって、「にのプロ」の進行は初めてでしたが、てきばきと進め、班のみんなを上手にリードしてくれました。今後は楽しみです。

「二宮小ボランティア」の方々に様々な場面でお世話になっています

学校運営協議会の「学びふれあい部会」の方を中心に立ち上がった「二宮小ボランティア」。今年度その活動が本格的に始まりました。

現在、48名の保護者および地域の方がボランティアに登録してくださっています。これまで、入学直後の1年生の下校の見守りや、1年生のせいかつ「まちたんけん」、2年生の生活「春をさがそう」と「わくわくどきどき町たんけん」、3年生の総合「二宮町を知ろう」への付



き添いなど、学習の様々な場面でご協力いただきました。特に校外での学習時に、ボランティアの方々が、子どもたちの安全面や体調面に気を配ってくださるので、より安心して、そしてより豊かに教育活動を行うことができます。



2学期以降も子どもたちの成長のために、ボランティアの方々のお力をお借りする場面が多々出てくると思います。その際にご協力いただければ幸いです。

共生社会の実現をめざして

～「インクルーシブ教育校内支援体制整備事業」の指定校となりました

今年度、本校は神奈川県が推進する「インクルーシブ教育校内支援体制整備事業」の指定校となりました。インクルーシブ教育を推進するにあたっては、誰もが当たり前と同じ場で共に学び、かわり合いを深めながら、必要に応じて適切な指導・支援を受けて共に育っていくことができるよう、学校運営を進めていく必要があります。

★取り組みの柱★

○すべての教職員で子どもたちを支援します。

教職員全員が、すべての子どもたちの成長を支えるチームとして連携を強化します。

○共に学び、共に育つ授業・学級づくりを進めます。

すべての子どもたちが共に安心して学び、互いに高め合えるような授業や学級活動を工夫します。

○必要な時に、適切な支援を受けられる体制を整えます。

子どもたち一人ひとりの状況に応じ、必要な支援がタイムリーに提供できる体制を確立します。

○互いを尊重し、他者と協働する心を育む教育活動を行います。

多様な友だちとのかかわりを通して、互いの違いを認め合い、協力し合うことの大切さを学びます。

この事業を通して、本校はすべての子どもたちが安心して学校生活を送り、地域の中で豊かな学びを深めていけるよう、教職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。

なお、神奈川県教育委員会が作成したリーフレット「かながわのインクルーシブ教育の推進」を別途配付します。併せてご覧ください。